

松村友昭のお約束

区民に負担を強いる区政から くらし応援の区政に

1 日本国憲法の平和と民主主義、 地方自治の理念を全面的に 生かした区政をすすめます。

- 安倍政権の憲法・民主主義破壊に反対します。
- 非核都市練馬区宣言にもとづき、自治体として、核兵器禁止・廃絶を促進します。
- 区民を主役とする開かれた区政実現へ、徹底した情報公開をおこないます。

2 人生を豊かにすごせる練馬の 実現のために、医療、福祉の 充実をはかります。

- 国民健康保険料、介護保険料の値上げをくいとめ、負担軽減をすすめます。
- 特養ホームの増設で待機者をなくします。
- 介護サービスの取り上げを許さず、高齢者の尊厳と暮らしを守ります。
- 都の病床規制を見直させ、人口に見合った病院の増設をすすめ、医療と介護の連携を強化します。
- 介護・福祉の現場で働く人たちの待遇改善をはかります。

3 安心して子育てできる 環境づくりと青少年の 豊かな教育をすすめます。

- 5歳まで預かる認可保育園の増設で、保育の質を守りながら、待機児ゼロを実現します。
- 就学援助の拡充、子ども食堂への支援などで、子どもの貧困をなくします。
- 学校給食費の無償化をめざし、負担軽減を拡大します。
- 教員の抜本的な増員で、少人数学級をすすめます。

4 区民の声にもとづき “災害につよい” 安心して住み続け られるまちづくりを すすめます。

- 大型開発・道路優先ではなく、生活道路改善をすすめ、「公共施設等管理計画」を見直し、身近な公共施設を守ります。
- 区民の声を無視した小中学校の統廃合はおこないません。
- 地域経済を発展させ、農業、みどりを守り、公契約条例の制定をはかります。
- 原発再稼働反対、再生可能エネルギーを拡大します。



憲法 の 松村

生まれ育った大泉には、戦争で“爆弾池”がいくつもできました。担任の先生から、「戦争をしない大人になってほしい」と、教えられました。区議の時、非核都市練馬区宣言の起草に直接たずさわりました。「憲法を守り、暮らしに生かす政治」が、私の原点です。

命・医療 を守る 松村

私は、区議、都議の時、一貫して練馬の医療過疎解決に取り組んできました。都議時代には、医療審議会委員として奮闘し、400床の順天堂病院の開設を実現しました。住民アンケートで寄せられた「餓死しそうだ」の声に、ただちに駆けつけ、生活保護につなげるなど、「命を守る」は、私の信念です。